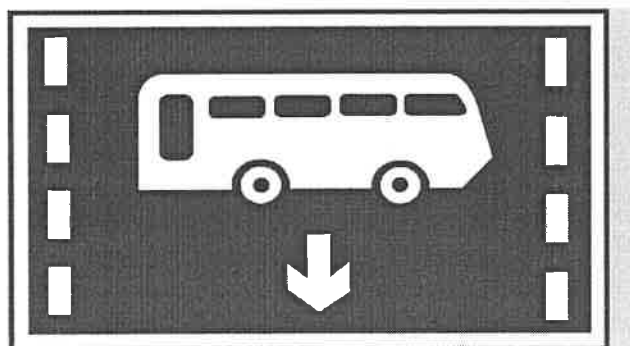


報告第1号
南房総・館山地域公共交通活性化協議会について



令和4年度第1回南房総市地域公共交通活性化協議会
(兼地域公共交通会議)

南房総・館山地域公共交通活性化協議会 R4事業計画案

事業名称	具体的内容	合同計画への位置づけ	予算要求額(千円)
<p>平群線(三芳地区)の再編 ⇒AIデマンド交通の実証 【地域内路線の再編】</p>	<p>令和3年度の実証結果を踏まえ、三芳地区並びに館野・九重地区の一部を含めたエリアにおいて、AIオンデマンドシステムを活用したフルデマンドバスの実証を行う。運行エリアが広範囲に及び、集落も点在しているため、AIオンデマンドシステムを導入し、少ない台数(2台想定)で効率的な運行を行えるかを検証する。</p> <p>【運行計画案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間：R4.10～R5.3の半年間 ・運行エリア：上記のとおり(館山駅・イオン等の目的地は降車専用としてポイントを設定し、対象エリアとの行き来を可能とする) ・運行形態：フルデマンド型 <p>⇒予約に応じ、あらかじめ設定されたポイント(ゴミ収集箇所レベル)まで迎えに行き、利用者が希望する降車ポイントまで送り届ける仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行曜日：週5日予定 ・運用台数：2台予定 ・車両：ハイエース(11人乗り)以下を予定 ・委託先：タクシニ事業者を予定 ・システム：プロポーザル審査による導入 	<p>事業3 地域内路線の再編及び有効活用(丸線・平群線) 丸線・平群線の見直し</p>	13,497
<p>豊房線の再編 ⇒買い物チャトルサービスの実証 【地域内路線の再編】 【公共交通空白地対策】</p>	<p>豊房神余地区では、バスが通っている県道から外れた集落が多く存在するため、日中に集落を巡るコースでチャトル便を設定し、拠点商業施設等(市街地循環バスと乗継可能な場所)まで送迎するサービスを実証する。合わせて、白浜地区の長尾橋周辺(割烹旅館清都がある海岸沿いの集落など)も運行範囲に含め、既存路線が利用できない人がどれくらいいるかを把握する。</p> <p>【運行計画案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間：R4.10～R5.3の半年間 ・運行エリア：長尾橋周辺～豊房神余地区各集落～館山市内(商業施設等拠点となる場所まで運行) <p>※運行ルートを2パターン設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行形態：定時定路線型又はフルデマンド型 ・運行曜日：各パターン週2日⇒週4日 ・運用台数：1台予定 ・車両：ハイエース(11人乗り)以下を予定 ・委託先：タクシニ事業者を予定 	<p>事業2 地域内路線の再編及び有効活用(白浜千倉館山線・豊房線) ②豊房線の見直し 事業5 ファイダー交通・補完交通の整備</p>	5,437
<p>公共交通空白地対策アドバイザー派遣 【公共交通空白地対策】</p>	<p>平群、豊房エリアでの実証その他公共交通空白地対策に当たり、当該地区住民のニーズのくみ取りや意見交換等を効果的に実施し、より良い事業内容とするため、アドバイザーを招へいし、当該地区での意見交換会や事業内容立案に参画してもらう。</p>	<p>事業2 地域内路線の再編及び有効活用(白浜千倉館山線・豊房線)</p>	500
<p>公共交通定額乗車券企画・造成 【利用促進・分かりやすい利用環境整備】</p>	<p>運賃額の確認や都度の切符購入といった手間を省き、かつ運賃の負担感を軽減することを目的に、1週間〇円、1か月〇円といったサブスクリプション型の定額乗車券を企画・販売し、新たな需要の掘り起こしによる利用者増を狙う。なお、販売に当たっては、LINE等の活用も検討し、観光客・市民等の更なる利用者拡大を図りたい。</p>	<p>事業9 利用しやすい・利用したいと感じてもらえる環境の整備</p>	500

※上記のほか、会議開催経費699千円を見込み、総事業費20,633千円として予算要求しています。(左記を2市で按分し、更に国・県補助の活用を想定しているため、各市予算計上額は7,567千円となります)